

指定校番号	31041	学級活動	生徒会活動	<input type="radio"/>	学校行事	別紙様式2
-------	-------	------	-------	-----------------------	------	-------

令和元年度生徒指導集中対策及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

学校名	庄原市立庄原中学校	校長	定宗 譲二	生徒指導主事	小田 昌滋
-----	-----------	----	-------	--------	-------

取組事例名	『合唱祭』
-------	-------

取組における育てたい資質・能力					
-----------------	--	--	--	--	--

人間関係形成		社会参画		自己実現	
「共感力」	1	「課題発見・解決力」	3	「自己肯定感」	2

取組のねらい					
--------	--	--	--	--	--

本校では、生徒の自己肯定感を高めるために、長年に渡り合唱祭を計画し開催している。生徒会執行部を中心に各委員会が行う準備や、各クラスでの合唱に向けての取組が、成功体験となり生徒の自己肯定感を向上させ、学校生活全体へのやる気に繋がると考えている。また、意欲の向上が問題行動や不登校の減少に繋がると期待している。

取組の具体的内容	取組の創意工夫 『異学年交流』
----------	--------------------

生徒会執行部が中心となり合唱祭に向けての準備を行っている。また、各委員会でも役割分担を行い準備するなど、生徒が主体となり合唱祭の運営が行えるよう取り組んでいる。各クラスでも、約1カ月前から指揮者、伴奏者、スピーチ、めくり作成、パートリーダーなど役割分担をして事前の取組を行っている。合唱祭当日に向けての練習では、各クラスのパートリーダーが中心となり練習の計画を考え、指示を出し練習を行っている。

合唱祭当日の表彰の際は、めくり賞やスピーチ賞、指揮者賞の発表があり、各クラスの担当者は入賞ができるよう様々な工夫をしている。表彰があることが、役割のある生徒の活動意欲の向上につながっている。

学年練習や縦割り練習の際には、お互いの良い点・改善点を「メッセージカード」に記入させ「見える化」を図っている。記入されたカードは各クラスに掲示するなどして、書いてある改善点などをその後の練習の参考にしている。また、肯定的なアドバイスは、生徒のやる気にも繋がっている。

これらの活動を通して、自己肯定感の高まりが見られた。今後の生活に活かせるよう、これから何を目標にどのようなことをがんばるかワークシートにまとめ、各自が記入したものは教室に掲示するなどして意識の継続を図った。

取組の成果と課題					
----------	--	--	--	--	--

合唱祭に向けての準備や合唱練習では、様々な課題を解決しながら合唱祭のステージに向けて、生徒会やクラス全員が一つになることができた。合唱祭当日の達成感は、これからの学級の大きな力になったと考えている。自分たちで、創意工夫を行い、仲間と共に同じ目標に向かう努力をしたことは大きな成果であった。また、特に1学年は、2・3学年の迫力を目のあたりにして自分たちも頑張ろうと目標ももてた。3学年は、1・2学年の模範になるよう意識し歌声だけでなく、ステージ上での態度も意識して取り組むことができた。